

高知県立牧野植物園研究報告「やまとぐさ」(和文) 投稿規定

1. 投稿は、原則として高知県立牧野植物園の職員による単著及び職員を含む共著、編集委員会より依頼した投稿者に限る。但し、植物園または牧野富太郎に関する研究を発表する場合にはその限りではない。

2. 投稿内容は、牧野植物園における活動に関する報告、植物園または牧野富太郎に関する研究とする。

3. 原稿作成上の注意

(1) 使用言語と原稿枚数の制限

言語は和文とする。

表記は現代かなづかい、漢字は常用漢字を用い、「である」調で記述する。句読点には、全角のピリオド「。」とカンマ「,」を用いる。数字は原則としてアラビア数字とする。

原稿枚数の上限は原則として刷り上がり 12 ページ（刷り上がり 1 ページ=2000 字に相当）とする。極端に長文の場合は、著者と編集委員会と協議する。

(2) 原稿の投稿方法

原稿は電子投稿とする。但し、印刷体を一部送付する。

(3) 原稿の体裁

原稿は、縦長 A4 判用紙横書きとする。1 ページに 35 字×25 行とし、周囲には 3 cm の余白を残す。本文は左揃えとし、両端揃えとしない。

1 ページ目に、表題、著者名、著者の所属と連絡先を記す。

区分けの小見出しは上下の 1 行をあけて左端に書く。さらに細分するときの小見出しは、(1)・・・, (1)・・・と番号を付し、左端によせる。

フォントの種類は全角文字を明朝体、半角英数字を Times New Roman とし、サイズは 12、行間は 1 行空けで統一する。

単位は SI 単位系とし、記号などは IUPAC-IUBMB 規約に従うこと。

(4) 表

表は 1 ページ内に印刷できる大きさを考慮し、縦ケイを使わない。表は 1 点ずつ別ページに作成する。表の説明は「表 1.・・・」とし、表の上を書く。1 点のみでも「表 1.」とする。本文中のおよその挿入位置を原稿の用紙の右余白に記入する。

(例)

表 1. 調査地および調査状況

調査地	調査日	気温 (正午)
ピンロン	2015 年 1 月 22 日	24°C
カロー	2015 年 1 月 30 日	21°C
ピンダヤ	2015 年 2 月 6 日	23°C

(5) 図・写真

電子投稿では、jpeg または tiff ファイルで作成する (カラー図版は 300 dpi, 白黒図版は 600 dpi 以上). 図の説明は「図 1. . . .」のようにして別ページにまとめる. 1 点のみでも「図 1.」とする. 原稿ファイルに挿入せずに別ファイルとして提出し, 本文中のおよその挿入位置を原稿の右余白に記入する.

(6) 文献の引用

本文中での文献の引用は, 「藤川・堀 (2019)」, 「. . . . (Makino 1912a, b, Mizukami and Fujikawa 1999, Hori et al. 2020)」などとする. 著者が 3 名以上の文献の場合には, 第 2 著者以下を「ほか」または「et al.」とする.

(7) 引用文献

引用文献表には, 本文中で引用した文献のみを収録し, それらを全て列記する. 本文中で「ほか」または「et al.」と省略した人名もすべて列記する. 配列は著者名の ABC 順とする. 第 1 著者が同じ場合には, 単独の著者名を西暦年順にはじめに置き, 第 2 著者の著者名の ABC 順であとに続ける. すべて同一著者の場合には西暦年順に置き, 同一著者で同一年の場合には西暦年のあとに小文字アルファベットを付けて区別する. 著者が 3 名以上で第 1 著者が同じで同一年の場合も西暦年のあとに小文字アルファベットを付けて区別する. 同一著者名の文献を 2 編以上続けて列記するときは, 2 度目以降の著者名を「—」で省略してよい.

引用文献リストは以下の形式を参考にしてつくる.

学会誌・単行本・Web サイト等

雑誌が巻号からなる場合, 巻の数字のみを太字で記す. 巻がなく, 号のみの場合, 号の数字を記す. なお, 雑誌名は, 略名で表記する. Web サイトからの情報の引用は, 他に同様の情報源がなく, どうしても必要な場合に限る. 引用する場合は, 「～である (URL : <http://～> ; 20XX 年 X 月 X 日閲覧).」のように URL と引用の日付を明記する.

Fujikawa K. and Koyama H. 2008. *Ligularia japonica* Less. (Asteraceae), a new record for Myanmar. *Journal of Japanese Botany* **83**: 356–358.

Fujikawa K., Kuroiwa N., Maeda A., Srisanga P. and Shein Gay Ngai. 2008. Botanical expedition to Natama Taung (Mt. Victoria) National Park, Chin State, west-central Myanmar in 2007. *Newsletter of Himalayan Botany* no. 41: 9–14.

Fujikawa K., Kuroiwa N., Maeda A., Gale S., Shein Gay Ngai and Aung Din. 2008. A guide to the forests of Natma Taung, Natma Taung National Park, Myanmar. 30 pp. The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden, Kochi, Japan.

大西信吾. 2002. ミャンマー動物紀行—資料編—. 新風社. 184 pp. 東京.

河瀬眞琴. 2001. 植物遺伝子資源の宝庫ミャンマー連邦のシードバンク計画. 農林業協力専門家通信 **22**: 25–35.

環境省. “生物多様性条約”

http://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/treaty/about_treaty.html (2020年4月10日閲覧).

(8) 本文中の学名と科名

植物名, 外国地名, 人名などはカタカナ書きまたは原語のままとし, 学名はイタリック (斜体) または自体を指定するアンダーラインを付すこと. また, 学名は初出時には著者名を末尾に省略形で付す. 科は APGIV に準拠すること.

4. 査読

投稿原稿は, 編集委員会の指名した職員による査読を受ける. 投稿者は査読意見に誠実に対応すること. 掲載の可否は, 編集委員会が決定する.

5. 校正

著者校正は初校のみとし, 原則として印刷ミスについて行う. 本文や図, 表の変更は極力さける. 再校以降は編集委員会が責任をもって行う.

6. 印刷用原稿の仕様

投稿者は受理された原稿の本文, 表, 図の説明のデジタルファイルを提出すること.

7. 別刷

別刷りは PDF として著者へ電子原稿を寄贈する. そのほか掲載された冊子を 2 部寄贈とする. 別刷りを希望する場合には, 50 部単位で注文することができ, 実費は全額著者負担とする.

8. 編集と原稿送付に関する連絡先

植物研究課 藤川和美・堀 清鷹

電話 088-882-2601 (ext.132, 135)

E-mail saussure@makino.or.jp (藤川) , khori@makino.or.jp (堀)

9. 著作権

著作権は公益財団高知県牧野記念財団に所属する。図表の転載は公益財団法人高知県牧野記念財団の許可を必要とする。

10. この投稿規程は2020年4月15日より施行する。